

柏市立田中小学校・新設小学校市民ワークショップ  
第2回目 概要報告資料

- ・開催日時：2019年12月8日（日） 午前10:00 - 午後12:30
- ・場所：田中小学校
- グループワーク①：新設小の配置計画案の良いところ、改善すべきところ、森をどう活かすか
- グループワーク②：①の意見をもとに模型を動かしながら案をつくる

■グループワーク①：新設小の配置計画案の良いところ、改善すべきところ（抜粋）

	項目	要望・意見の抜粋	要望・意見の対応
建物配置	全体	校舎がコンパクトにまとまっている、敷地内に無駄な場所がある	無駄の少ないコンパクトな建物配置とします
	日照	校舎の日当たりが気になる(昼以降の日照)、教室の日当りは良好でよい	教室への日照に配慮した計画を行います
体育施設	体育館	子どもの活動場所として校舎・体育館は一体の方が良い 正門から体育館が遠い	校舎と体育館の適切な建物配置を検討します 体育館の地域利用時にも、効率の良い動線を検討します
	プール	1階設置は道路から見える懸念がある、上層階への設置が良い 屋内温水プールとして市民にも開放してほしい、管理は市で行う	上階への設置を検討します コストや費用対効果を考慮して検討します
森の活用	子ども	生活科・理科の授業で活用したい、子どもが遊べる工夫が欲しい	学びの場、遊び場として整備を検討します
	安全	樹木の倒木の可能性はないか 木による死角は無くして欲しい、樹林は先生から見える場所が良い	樹木診断を行い、危険な木は伐採します 森の中は視線が通るように検討します 職員室から森が見える配置を検討します
	整備イメージ	森とグラウンドは接した配置が良い	森とグラウンドは接した配置とし、グラウンドから見通しが良い森を計画します
地域施設	こどもルーム	こどもルームが正門から遠い、周辺に駐車場がない こどもルームは2階だけで足りるか	位置はその他の諸室との兼ね合いを考え決定し、こどもルームから近い位置に駐車場を確保します 内部レイアウトは第4回WSで提示します
	グラウンド	校舎からグラウンドが見づらく見守りにくい、教職員が校庭の安全を監視しやすい グラウンドの日当たり、水はけ、南側の場合は暑さ対策が必要	児童の安全のためグラウンドが見渡せる位置に職員室を設置します 明るく広いグラウンドとし、熱中症対策として日影エリアを確保します 水はけは舗装方式と併せて検討します
屋外空間	駐車場	先生方の駐車場の確保	職員の駐車場は、グラウンド確保のため敷地内には設けない計画とします
	地域防犯	地域出入口と学校の正門は分ける	安全に配慮し地域と学校の出入口は分離します

■グループワーク②：①の意見をもとに模型を動かしながら案をつくる

各班で作成した模型案を基に、新設小の配置計画のコンセプトを以下の視点で検討します。

グラウンド	・森を有効に使えるように森とグラウンドをつなげる
	・防災上の観点より、道路から車の進入ルートを確認する
	・西側住宅地への飛砂に配慮する ・散水設備の設置や飛散しにくい舗装を検討する
校舎配置	・グラウンド、森に対して職員が目が行き届きやすい校舎の配置とする
	・校舎を出来るだけコンパクトにまとめ、広場やグラウンドを広く確保できるように努める
	・教室への日当りに配慮し、明るい教室をつくる ・学校と地域の出入口は分け、セキュリティに配慮する
体育館	・地域利用を考えた体育館の配置とする
	・校舎から児童が行きやすいよう効率的な児童の動線を計画する
	・プールは近隣からの視線に配慮した位置に計画する
地域施設	・地域施設と学校校舎が連携しやすい建物配置とする
	・地域の方が立ち寄りやすいよう、北東の交差点と交差点に面した広場との連携を重視する ・広場には車止め等を設置し、車の進入が防げる安全な広場を整備する ・送り迎えのため、こどもルームの近くに駐車場を設ける
森の活用	・森の中を歩けるよう遊歩道を整備する ・生活科、理科などの学習に活用できる設えを検討する ・児童の遊び場としてグラウンドと一体的な利用が出来るよう整備する ・危険な木は伐採を行う